

新たなムーンショット目標の検討の進め方について

令和2年8月3日

内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）

文部科学省科学技術・学術政策局長

1. 新たな目標の必要性について

ムーンショット型研究開発制度においては、総合科学技術・イノベーション会議（以下「CSTI」という。）は本年1月に、ビジョナリー会議の提言（目標候補）、国内外の有識者の意見等を踏まえ、緊要性や優先度等を精査した上で、社会経済の諸課題を解決するための野心的な6つのムーンショット目標を決定した。さらに、健康医療戦略推進本部は本年7月に、健康医療分野における新たなムーンショット目標を決定した。

一方で、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の影響により、今後も社会経済の姿が大きく変容していくことが想定され、我が国の将来像や、それに向けた野心的な研究開発の在り方についても、再考が求められている。

本制度に関する運用・評価指針においては、「社会環境の変化や科学技術の進展等に応じ、必要と認められる場合は、技術的な実現性に関する評価を行い、国内外の見解を聴取した上で、CSTIはMS目標の追加・変更等を行う。」とされている。また、ムーンショット目標の在り方を議論したビジョナリー会議の提言においても、「ミレニアム・チャレンジ」^(注)が掲げられている。

(注) ビジョナリー会議の提言において、科学技術によって未来を切り拓く熱意（ビジョン）とそれをやり抜く志を持った研究者集団を発掘・育成し、30年後の未来社会を創造するというビジョン公募枠として掲げられたもの。

以上を踏まえ、本制度における新たな目標の検討等を行うため、今後、以下のとおり対応する。

2. 目標検討や運営の方向性等

(1) 目標検討の方向性

- 新型コロナウイルス感染症を受けた社会経済情勢の変化も踏まえた新たな目標を検討する。
- 既定目標との重複がないよう検討する。

(2) 想定目標数

- 各目標への十分な資金配分の確保等の観点から、新たな目標数は1～2とする。

(3) 運営の方向性

- 目標内容を踏まえる必要があるものの、「ポストコロナ／アフターコロナ」における社会経済の多様かつ複雑な課題を見据えた目標が想定されることから、基盤的・分野横断的な研究開発を推進する国立研究開発法人科学技術振興機構（以下「JST」という。）及び所管省庁である文部科学省において担当することとし、JSTに設置した既存の基金において対応することを念頭に置く。

- 「ポストコロナ／アフターコロナ」を見据えた場合、特に、今後の時代を担う若手研究者の着想や、海外の知見の取り入れに一層配意した検討が重要である。昨年のビジョナリー会議から示された目標例は、概ね既定目標で取り入れられていることから、新たな目標については、若手の柔軟かつ自由なアイデアを取り入れながら検討することとする。

3. 具体的なプロセス

(1) 新たな目標の検討・決定プロセス

- 若手の柔軟かつ自由なアイデアを取り入れながら、将来の社会経済の課題やあるべき姿（ビジョン）を議論しつつ、新たな目標案の検討をしていく観点から、原則として、若手を中心とする目標検討チームを広く公募し、複数のチームにおいて、それぞれ目標案を検討する。
- なお、社会経済の多様かつ複雑な課題に対応する目標を検討できるようにするため、目標検討チームは、原則として、研究者のみならず、ダイバーシティに配慮した多様な分野・組織の人材で構成するものとする。
- 各チームで目標案を検討する過程においては、未来社会を展望し、顕在化するであろう国内外の社会課題を解決する観点から、国際的にも開かれた意見交換の場を設ける等、幅広く、ステークホルダーとの対話に努めることとする。
- その後、目標検討チームが検討してきた目標案を絞り込み、目標候補を選考する。以上のプロセスを JST が担う。
- 選考された目標候補を踏まえて、GSTI が最終的な目標を決定し、文部科学省が目標達成に向けた研究開発構想を策定する。
- なお、選定されなかった目標案についても、必要に応じて、検討過程で深めたアイデア・知見を社会に橋渡しするための模索を行う。

(2) 研究開発プロセス

- 目標達成や構想実現に向けて、複数の研究開発プロジェクトを指揮・監督（ポートフォリオ構築等）するプログラムディレクター（PD）を任命する。
- その後、目標達成や構想実現に向けて、研究開発プロジェクトを推進するプロジェクトマネージャー（PM）を公募する。なお、新たな目標の検討に関わった者についても PM として応募することができる。
- 研究開始後は、本制度に関する評価・運用指針に基づき、既定の期間に外部評価を行うなどして、ステージゲート方式で、研究開発プロジェクトの継続、加速、中止等を決定する。

4. 今後の予定

令和2年8月	目標検討チーム公募
令和3年1月	目標検討チーム選定／目標検討開始
6月	目標候補選定（1～2目標）
7月	目標決定（GSTI）／研究開発構想策定（文部科学省）
8月	PM 公募
12月	PM 採択